

「なっちゃんのみかちゃん」



「つぎは山の手団地一丁目、おおりのかたはボタンをおしてお知らせください」

バスの中に案内の声が聞こえています。

おやおや、なっちゃんもみかちゃんもおおはなしにむちゅうです。だいじょうぶかな。

なっちゃんのみかちゃんはバスでようちえんにかよっています。ふたりはとってもなかよし、いつも

いっしょです。だって、おとなりとうしのおうちに住んでいるんです。ようちえんに行くときも、ふたりはいっしょ、バスでいまでお母さんにつれてきてもらって、そこからはいつもふたりだけでバスにのります。かえるときも、ようちえんのまえのバスでいまでは、ほかのおともだちとゆきこ先生がいっしょですが、そこからは子どもたちだけでバスにのります。



おおぜいのおともだちも、いっしょのバスにのります。でもなっちゃんのみかちゃんがおおる山の手団地一丁目までには、ほかのおともだちはみんなおおりて、いつもふたりがさいごです。

バスは山の手団地一丁目をおりすぎてしまいました。そこからバスは右にまがります。きゅうにバスがまがったことで、さいしょに気がついたのはなっちゃんでした。バスのまどの外では、はじめてみるけしきがどんだんすぎていきました。

なっちゃんはみかちゃんにしがみつきながら、大きな声でなきだしました。それでみかちゃんも気がつきました。ふたりともバスでようちえんにかよいはじめて、バスでいをのりすごしたのはきょうがはじめてです。みかちゃんは口をまいちもんにきつくむすびながら、しがみ



なっちゃん と みかちゃん



「なっちゃんのみかちゃん」

ば、山の手団地一丁目だからね。そこまで行けばもうだいじょうぶだろう」

しんせつなうんてんしゅさんはバスを止めて、そういつてくれました。なっちゃんはそのあいだじゅう、ずっと、声を上げてないていましたが、みかちゃんはやはり、口をまいちもんにむすんだまま、それでもなっちゃんの手をしっかりとにぎっていました。みかちゃんはちゃんとうんてんしゅさんにあたまを下げて、おれいをいいました。

そこからふたりは、はじめてあるくみちを、いつものバスでいまであるきました。なっちゃんはやっぱり大きな声でなっています。みかちゃんはやっぱり口をいちもんにむすんで、でもふたりはまるで、ひとつのからだになったようにくつつ



つくなっちゃんの手をしっかりと、にぎりしめてあげました。

バスにはなっちゃんのみかちゃんのほかにも、おきやくさんがのっていますでしたが、しっている人はだれ

もいませんでした。とつぜんなきだした女の子の声に、のりあわせていたべつのおきやくさんたちも、びっくりしています。バスのうんてんしゅさんもすぐに気がついてくれました。

「どうした。そうか、のりすごしたんだな。ごめんごめん、おじちゃんはきょうはじめて、このろせんにつたから、ふたりのおりとところをしらなかつたんだ。どこでおるんだつたんだい」

ちようどしんごうが赤になり、バスがとまったので、うんてんしゅさんはそんなふうにやさしくきいてくれました。

「山の手団地一丁目です」

みかちゃんがおこったような声で、きっぱりといいました。

「そうか、じゃあひとつてまえのバ

いてあるいています。

とちゅうで大きなゴールデンレトリバー犬のいるおうちのまえをとおりました。いつもは犬がだいすきなふたりですが、きょうはちがい



すていだつたんだ。だいじょうぶ今すぐ、おろしてあげるからな。さあ、ちゃんとすわったままで、ちよつとまっついておくれよな。ここは、あぶないからな」

バスはつぎのバスでいとのもんなかあたりのばしょにとまりました。

「このみちをまっすぐもどつていけ



ます。なっているなっちゃんに犬の方もへんにおもつたのか、大きな声で

「ワンワン、ワンワン」

とほえました。

なっちゃんはますます大きな声

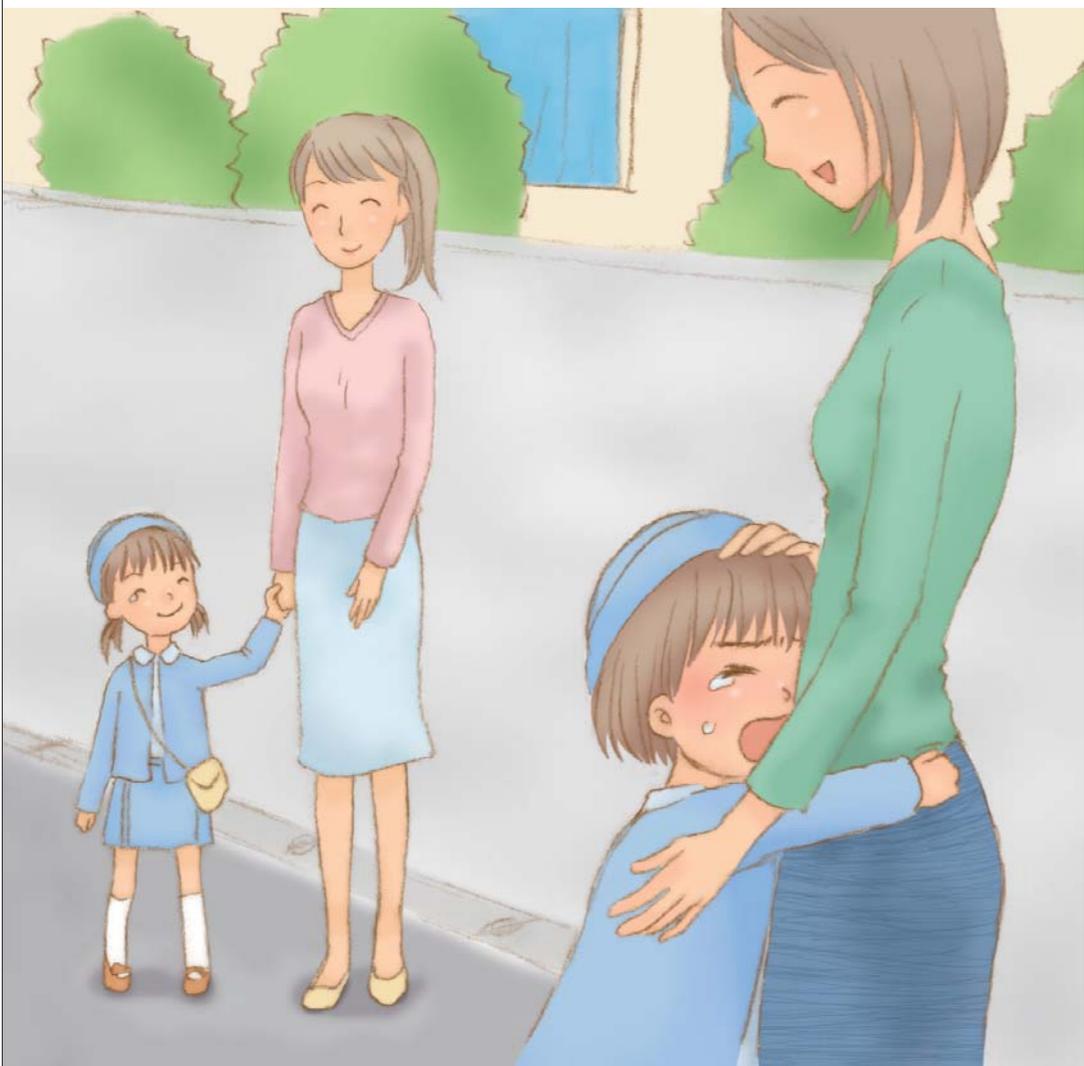
「なっちゃんのみかちゃん」

ちやんとしつかりとつないでいた手をはなし、それはそれはうれしうなかおになつてはしつていきました。みかちゃんの方をゆびさしながら、何かをいっしょけんめいにはなしています。なっちゃんのお母さんは、うれしそうにうなずきながらなっちゃんをだきしめています。そして、みかちゃんのお母さんにおかかって、ほほえみながら、おじぎをしました。

みかちゃんはどうしたでしょう。みかちゃんはほんの少しのあいだ、立ちどまって、なっちゃんのはしつていくすがたをぼんやり見ていました。そして……。

「ママッ」

ひとこえ大きな声でそういうと、お母さんにしがみついてしまいました。



みかちゃんのめからは、おおつぶのなみだがつきからつきにながれて、声もでません。いいたいことは

いっばいあったのですが、ただただ、みかちゃんはお母さんにしがみついてないました。



でなきます。みかちゃんはしつかりとなっちゃんをだきかかえながら、ほどのいちばんはしによって、はしりたいのをがまんしながら、ゆつくりとあるきました。

やっと山の手団地一丁目のバスでいのあるじゅうろが見えてきました。もうだいじょうぶです。みかちゃんは、なんだかなつかしくてたまりません。おおきなおおきなためいきをひとつしました。そしてまた、みかちゃんは口をいちもんじにむずびました。なっちゃんはまだないています。

ふたりのおうちが見えてきました。しんぱいそうなかおをしたお母さんたちが、おうちのまえてまつていてくれました。

今までないていたなっちゃんは、お母さんのかおを見るなり、みか